

小さな力士たちの相撲大会 内子小Aチームが団体戦5連覇!

「第13回内子町子供相撲大会」(内子町教育委員会他主催)が8月8日、内子スポーツセンターで開かれ、町内6つの小学校から108人が出場しました。夏恒例の熱い大会で、負けて悔し涙を流す選手も。観客は小さな力士たちの力と技のぶつかり合いに、大きな声援と拍手を送っていました。団体の部では内子小学校Aチームが5連覇を達成。個人の部の優勝者は次のとおりです。



1_両者譲らない白熱した取り組みが続いた
2_チームの勝利に手を叩いて喜ぶ

■個人の部優勝者

| | 男子 | 女子 |
|-----|-------------|--------------|
| 1年生 | 河野 桃矢くん(天神) | 前田 京香さん(天神) |
| 2年生 | 大野 智輝くん(天神) | 弦田 彩那さん(内子) |
| 3年生 | 高森 一輝くん(内子) | 高岡 幸音羽さん(大瀬) |
| 4年生 | 宮田 晃和くん(内子) | 柴田 陽菜さん(立川) |
| 5年生 | 織田 優晴くん(内子) | 都築 佑佳さん(五十崎) |
| 6年生 | 二宮 颯聖くん(内子) | 大野 なつきさん(天神) |

歴史的資源を生かしたまちづくり、 計画策定に向けて委員会が始動

歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」の認定を目指す内子町は8月24日、「第1回策定委員会」を内子自治センターで開きました。「歴史的風致」とは、地域の歴史や伝統を反映した営みと、歴史的価値の高い建造物などが一体と

なっている環境をいいます。同計画の策定は、まちの新たな価値の創出や魅力向上につながることを期待されています。今後は、東京大学都市デザイン研究室の西村幸夫教授を中心に、内子町の「歴史的風致」について協議を深めていきます。



策定委員会に先だって行われた、西村教授の講演会の様子

「内子座文楽公演」に新たな歴史 豊竹呂太夫さんが襲名披露口上

21回目を迎えた「内子座文楽公演」(同実行委員会主催、源田恒雄実行委員長)は8月19・20の両日、内子座で開かれました。今回は内子座で初めて、豊竹英太夫改め六代豊竹呂太夫の襲名披露口上が行われ、太夫・三味線・人形遣いのそれぞれの代表からお祝いの言葉が贈られました。演目は「芦屋道満大内鑑」より、道満と技を競った陰陽師・安倍晴明

の母が、信田の狐であるとの物語をもとにした「葛の葉子別れの段」と「蘭菊の乱れ」。 「蘭菊の乱れ」では、人間国宝(重要無形文化財保持者)に内定している人形遣い・吉田和生さんが、家族との突然の別れに心が乱れる「葛の葉」を熱演しました。花道と和ろうそくを使った初めの演出もあり、内子座文楽に新しい歴史を刻む公演となりました。



1_呂太夫さん(左から2人目)の襲名披露口上。文楽の口上は本人がしない。右側から豊竹呂勢太夫さん、鶴澤清介さん、吉田和生さんの順にあいさつした 2_花道と和ろうそくを使った「蘭菊の乱れ」の一幕 3_吉田さんは公演の成功を祈って人形で乾杯

内子小学校自転車チームが大健闘 全国大会で団体4位に入賞

「第52回交通安全安全子供自転車全国大会」(全日本交通安全協会主催)が8月9日、東京都で開かれ、団体の部で4位、個人の部で松浦玄武くんが8位に入賞しました。同大会は小学校児童の自転車事故防止活動の一環として毎年行われ、今年是全国1178チームが参加。地区大会と都道府県大会を勝ち抜いた47

チーム188人の選手が全国大会に出場し、交通安全の知識や自転車走行の技能などを競いました。8月22日には六日市自治会館で祝賀会が開かれ、選手たちの快挙を祝いました。松浦くんは「大会では学科を頑張った。難しい問題も、諦めず回答した。4人で力を合わせて団体4位になれてうれしい」と喜びました。



完成した木蠟クレヨンを並べて、うれしそうに笑う男の子

夏休み最後の思い出に―― 上芳我で木蠟クレヨン作り

夏休み中の子どもたちを対象にした「木蠟クレヨンを作ろう」は8月27日、木蠟資料館上芳我邸で開かれました。参加者は学芸員から木蠟についての説明を受けた後、さっそくクレヨン作りに挑戦しました。湯煎で溶かした生蠟に、絵の具を

混ぜ合わせて着色。型に流し込んで固めると、色とりどりのクレヨンができあがりしました。内子小5年生の一宮もこさんは「意外と簡単に楽しかった。スイカやアサガオを描きたい」と、できたのクレヨンを大事そうに持ち帰りました。



1. 全国大会でも落ち着いた走行を見せた 松浦くん、宮内美姫さん、河内友里さん、松岡涼太くんに記念品を贈呈



2. 祝賀会では(左から)